

今週（8月21日から8月25日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、週を通してレート水準は低位で推移する展開となった。

無担保コールO/N物は、前週に引き続きオファーサイドの運用ニーズが非常に強い展開となる中、ビッドサイドにも大きな変化が見られなかった事で、21日(月)から24日(木)までは▲0.075～▲0.06%近辺の低位での取引が中心となった。25日(金)は、3日積みとなる事から動向が注目されたが、レート水準は小幅に上昇した程度となった。

ターム物は、ショートターム物を中心に▲0.07%近辺での出会いが散見された。

日銀当座預金残高は544兆円台半ばでスタートした。その後は、小幅な増減を繰り返しながら概ね横這い圏で推移する展開となる中、25日(金)には、財政資金の支払いにより546兆円程度まで増加して着地する見込みとなった。

●レポ市場

今週のGC T/N物の出会い水準は、概ね▲0.15～▲0.12%程度での推移となった。

SCIは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全体としてしっかりとした推移となった。

22日に実施された短国買入オペは、前回と同額の1,000億円でオファーされ、全取利回較差+0.010%、平均利回較差+0.010%と、やや弱めの結果となった。

25日に実施された3M物入札は、強い結果となった。結果発表後のセカンダリーマーケットでは堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、月末発行分の入札を来週に控え、全体的に案件が少なく、やや閑散としたマーケットとなった。

市場残高は、24日時点で28兆3,400億円程度となった。石油、鉄鋼、小売、電気機器など複数の業態から大型案件が見られた事で、前週末から1,000億円程度増加した。

発行レートは、日銀適格担保銘柄で概ね0%程度での出会いが中心となったが、ロングターム物については、投資家のレート目線に慎重な姿勢が見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
8/21 (月)	31,565.64	0.650	145.27	△ 0.065	△ 0.121	5,445,600
8/22 (火)	31,856.71	0.665	146.25	△ 0.064	△ 0.132	5,440,300
8/23 (水)	32,010.26	0.674	145.70	△ 0.064	△ 0.153	5,438,700
8/24 (木)	32,287.21	0.645	144.78	△ 0.063	△ 0.149	5,450,400
8/25 (金)	31,624.28	0.655	146.10	△ 0.061	△ 0.129	5,469,200

来週（8月28日から9月1日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
8/28 (月)	月例経済報告 (内閣府) 6月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)		London祝日(SummerBankHoliday)
8/29 (火)	7月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 7月の一般職業紹介状況(有効求人倍率 厚生労働省 8:30)	2Y 29,000億円 9/1発行	6月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 8月の米CB消費者信頼感指数
8/30 (水)	道東地域金融経済懇談会において田村日銀審議委員講演 8月の消費動向調査(内閣府 14:00)	交付税借入 11,450億円 9/8借入	4-6月期の米GDP改定値
8/31 (木)	岐阜県金融経済懇談会において中村日銀審議委員講演 7月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 7月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 7月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)		7月の米個人所得・消費支出(PCE) 8月のシカゴPM景況感指数 8月のユーロ圏消費者物価指数速報値
9/1 (金)	4-6月期の法人企業統計調査季報(財務省 8:50)	TB3M 58,000億円 9/4発行	8月の米雇用統計 7月の米建設支出 8月のISM製造業景況指数

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
8/28 (月)	400	200	600	CP買入 国債補完	▲ 100 28,800		28,700	29,300	TB3M発行▲58,000償還62,000
8/29 (火)	▲ 500	▲ 4,000	▲ 4,500				0	▲ 4,500	
8/30 (水)	500	▲ 3,700	▲ 3,200	全店共通	▲ 7,300		▲ 7,300	▲ 10,500	
8/31 (木)	▲ 600	4,500	3,900	CP買入		4,000	4,000	7,900	特別法人事業譲与税譲与金の払い 交付税借入▲12,000期日12,000
9/1 (金)	▲ 100	▲ 35,000	▲ 35,100				0	▲ 35,100	財政融資資金の回収 2Y発行▲29,000償還16,600
週間合計	▲ 300	▲ 38,000	▲ 38,300	—	21,400	4,000	25,400	▲ 12,900	

8/28は日銀予想、8/29以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、引き続きオファーサイドからの積極的な運用ニーズが見込まれ、無担保コールO/N物は、▲0.06%台近辺で推移することが予想される。債券レポ GC T/N物は、▲0.15～▲0.09%程度のレンジでの取引が予想される。短国市場は、9月1日に3M物の入札実施が予定されている。また、29日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、28日にCP等買入オペ、29日に月末発行の入札集中日を予定している。例年、有利子負債削減のため、9月末償還が多くなる傾向にある中、9月末越え案件がどこまで増加するか注目される。

主要なイベントは、国内では29日に7月の完全失業率・有効求人倍率、31日に7月の鉱工業生産・出荷・在庫速報、海外では、30日に4-6月期の米GDP改定値、31日に7月の米個人所得・消費支出(PCE)、8月のユーロ圏消費者物価指数速報値、9月1日に8月の米雇用統計などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入